

11人の議員が町政を問う

一般質問とは

議員が、定例会において、町の行財政全般にわたって、町に対し疑問点をだし、所信の表明を求めるものです。それにより、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させたりするものです。一人の議員の持ち時間は、質問、答弁を含めて100分以内です。



一般質問

(質問順)

1 やまだ よしあき
山田 良秋

質問事項 ◆職場の雰囲気づくりについて
◆防災力向上のために

2 はたけやま みゆき
畠山 美幸

質問事項 ◆子育て遊具の整備について
◆PCR検査にいたる相談・検査体制について
◆3歳児健診に屈折検査機器の導入について

3 いずもり かつよし
狩守 勝義

質問事項 ◆小中学校における「いじめ」と「不登校」について
◆介護保険料滞納による資産の差し押さえについて
◆「杉山城跡」への誘導案内板について

4 あおやぎ けんじ
青柳 賢治

質問事項 ◆住民意識調査報告書の反映方法について
◆ひとり暮らしの高齢者に寄り添う支援について
◆学校再開後の取り組み状況調査について

5 おおの としゆき
大野 敏行

質問事項 ◆農地の除草管理について

◆質問事項のうち、網掛け部分については、記事を掲載してあります。

6 しぶや とみこ
渋谷 登美子

質問事項 ◆子育て支援について
◆学校給食について
◆デジタル教科書導入について
◆外来動物の駆除・野生動物の住処確保について
◆次年度予算について

7 ふじの かずみ
藤野 和美

質問事項 ◆農業の活性化について
◆ウォーキングルートの整備について
◆自宅介護世帯への支援について

8 まつもと みこ
松本 美子

質問事項 ◆重点的に取り組む課題について
◆企業誘致について

9 かわぐち ひろし
川口 浩史

質問事項 ◆ゴミ処理について
◆排水対策について
◆磁気ループ設置について
◆パブコメについて
◆ハトのフン被害について

10 こばやし さとし
小林 智

質問事項 ◆地域再生計画「嵐山町版活力ある地域・ひと・しごとづくり事業計画」の進捗について
◆農業者支援のあり方について

11 ながしま くにお
長島 邦夫

質問事項 ◆農業活性化について
◆観光地域づくり法人(DMO)について



山田 良秋 議員

議員の笑顔と挨拶に感じています。

問 議員の年次休暇の取得率はどうか。

答 参事兼総務課長 平均取得率9・9日である。管理職の平均が7・3日、一般職が9・9日である。

問 年休取得の推進策を講じているか。

答 参事兼総務課長 職員が充実感・やりがいを持ち職務に専念するためには、適度な休養が必要である。このため、水曜日のノー残業デーの励行を始め、県施設の働き方改革に併せ、「県内一斉ノー残業デー」や「年次有給休暇の取得推進」

について、職員へ周知している。

問 年次休暇取得率の他市町村との比較はどうか。

答 参事兼総務課長 さいたま市を除く県内市町村の年次休暇取得の平均日数は、市が10・7日、町村が8・5日である。最も多い市町村は13・3日、最も少ない市町村は5・5日であった。

問 職員の元気と住民サービスをどのようにに捉えているか。

答 町長 大変重要な視点であると考えている。2カ月の勤務で町職員の多忙さを切に感じる。また、このような状況下で、職員は時間を上手に使い、互い

町職員の仕事と休養の調和について

答 仕事と休養のバランスは住民のサービス向上につながる

に協力し合い課題解決し、前進している姿に感銘を受けている。しかし、生身の人間なので、精神的にも肉体的にも疲れを感じたり、悩みを抱えることも当然であると考えている。このような状況下で、最善の業務をこなすことは、難しいことは明らかである。議員指摘の通り、仕事と休養とのバランスをとること、心身ともにリフレッシュできる機会を持つことは、住民サービスの向上に繋がると考える。

問 町等の行事(選挙、スポーツ等)で、休暇を取得しにくい課もあるのではないか。

答 参事兼総務課長 日曜日の振替えは、

前4週間、後8週間の間で振替えができるようにしている。時間外

手当の対応も行っている。



嵐山町役場町民サービスの玄関＝R2.12.13